

水稲直播情報

令和8年5月15日
庄内総合支庁農業技術普及課
(TEL 0235-64-2103)

※播種期以降、気温が高く経過し、イネだけでなく雑草の生育も早まっています。また、“ワキの発生”も早くなっており、向こう1か月の気温も高くなる見込みです。(仙台管区気象台 5月14日発表)。

※イネの生育とワキの状況を確認し、適切な水管理と除草剤散布を行いましょう！

1 鉄コーティング湛水直播栽培の水管理と除草剤散布

- 播種同時または播種直後に初期除草剤を散布した場合は、7日間止水した後、落水または間断灌水で出芽を促進させます(落水する場合は、圃場表面が乾かない程度)。
- 出芽確認後は浅水管理を基本とし、イネの生育を確認後、雑草発生前に一発処理除草剤を散布します。ワキ抑制のため、できれば一発処理除草剤散布前に水交換をしましょう。一発処理除草剤を散布し、7日間の止水期間終了後は、浅水管理を基本とします。
- 今後も高温の見込みで、ワキの発生による生育への影響が心配されます。適切に水交換・夜間落水・2～3日程度の田干しを行いましょう(下図のイメージ)。

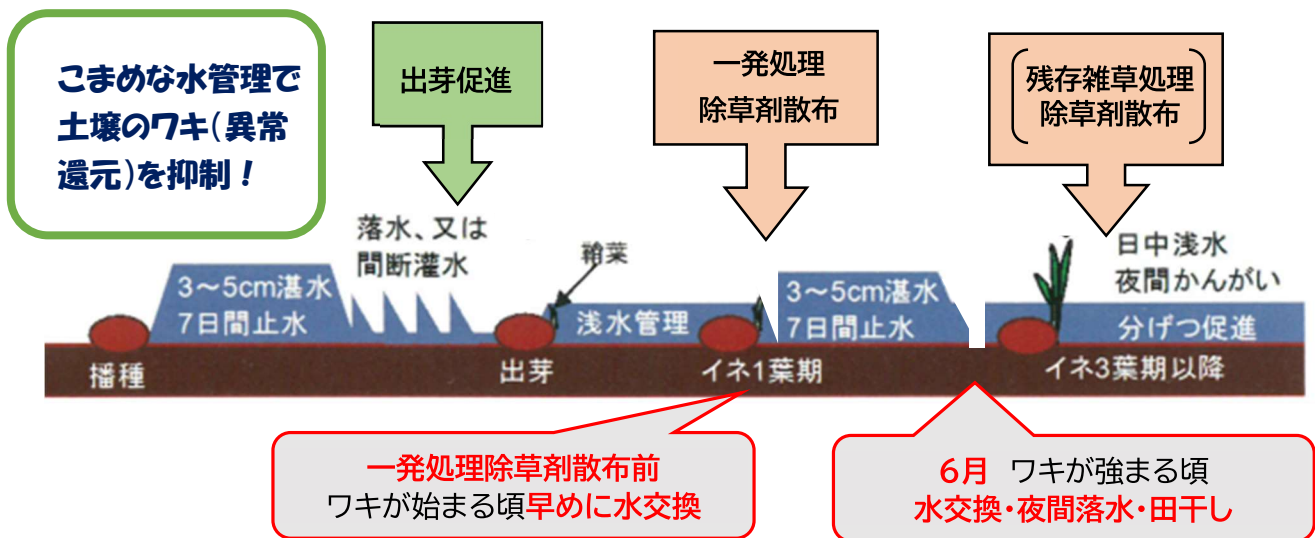


図 ワキ対策を兼ねた水管理のイメージ

2 水交換や田干しをしても茎数が不足した場合の追肥対応

- 3葉期に茎数を確認し、目標下限に達していない場合は追肥を行います。
追肥の目安と量: 3葉期 80本/m² 未満 ⇒ 窒素成分1.0kg/10a
(目標茎数 80~120本/m² ⇒ 追肥なし)

熱中症対策をして農作業を！ < 春季農作業事故防止運動 4/1~6/10 >
～ 農薬を使用する際は農薬の使用基準を遵守し、適正に使用しまししょう ～